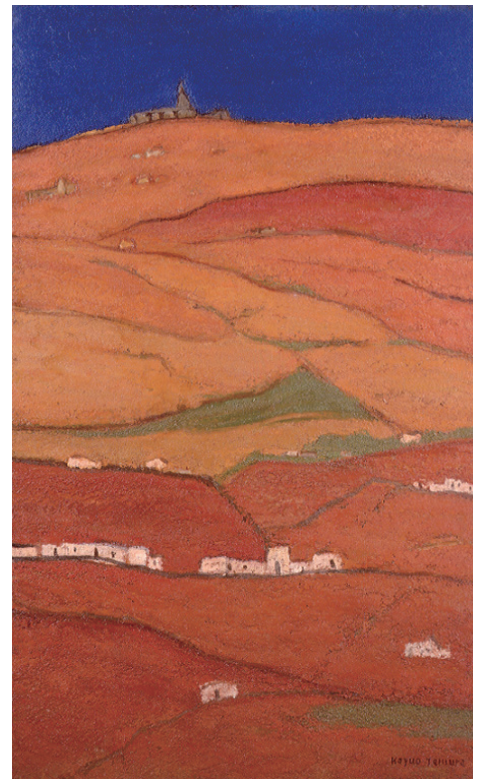




《北信濃》1984年



《陽月》1971年



《グラナダの丘》1956年

田村一男 記念展示室

日展出品作を中心に — Focus on Nitten Exhibits —



田村一男(1904～97年)は1928年、茅野駅付近の真夏の畑の丘をオレンジ色一色に描いた作品《赤山の午後》を第9回帝展(日展の前身)に初出品し、初入選。それからしばらく入選から遠ざかりましたが、戦時中も出品を続け、晩年まで光風会展と帝展・新文展・日展は田村にとって代表作となる作品が次々に発表された全国公募展でした。

今回の展示では、松本市美術館が所蔵する作品のうち40代後半から最晩年までの日展出品作をご紹介します。田村が何を見、何を感じたのか。作品をつうじて感じていただければ幸いです。



《高原》1989年



《白馬くもる》1993年

会期: 2022年4月21日(木)～7月10日(日)



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART

〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22
TEL.0263-39-7400
<http://matsumoto-artmuse.jp>